

エゾノバッコヤナギ

Salix hulthenii

ヤナギ科



エゾノバッコヤナギ
(上、右とも)



名前の由来

「蝦夷(北海道)」のバッコヤナギ。バッコヤナギの「バッコ(婆っこ?)」は東北方言で婆さんの意で、花序を指すという。「ヤナギ」は①古く中国で矢をつくったことからヤノキの転。②成長しやすいためイヤナガ(彌長)の略。③梁をつくったことからヤナ木。④柔萎木(やわなぎ)の意。などといわれている。

漢字名：蝦夷のばっこ柳、別名蝦夷の山猫柳

形態的特徴

山地や平地に生える落葉樹、樹高15m、裸材には隆起線はほとんどない(バッコヤナギには隆起線が見られる)。葉は楕円形～長楕円形、長さ8～15cm、鈍鋸歯縁か全縁、裏面には毛を密生、互生する。雌雄異株。花は、雄花序の葯は黄色、雌花序は緑白色、長さ2～4cm、4～5月葉より先に開花。果実の果序は長さ約10cm、5～6月に成熟。

類似種との見分け方：エゾノバッコヤナギはヤナギの中では広い葉を持ち、その点ではオオバヤナギと共通する。区別点としてはエゾノバッコヤナギの葉の裏面には縮毛(縮れ毛)が密生するが、オオバヤナギの葉は無毛。



エゾノバッコヤナギの雄花



エゾノバッコヤナギの雌花



エゾノバッコヤナギの種。落ちて枝に引っかかった



エゾノバッコヤナギの葉。裏面には縮毛が密生している



エゾノバッコヤナギの樹形



エゾノバッコヤナギの樹皮。古くなると不規則に裂ける



エゾノバッコヤナギの冬芽



エゾノバッコヤナギの芽吹き

生活サイクル

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
開花期	■											
結実期		■										

魚類

底生動物

両生類
爬虫類

トンボ

チョウ

樹木

(在来種)
草花

(外来種)
草花

哺乳類

(水辺)
鳥類

(草原・樹林)
鳥類
ワシ・タカ

生育環境・分布

河原や河畔にも見られるが、むしろやや乾燥するような丘陵や明るい山地斜面に生育する。

分布：国外分布は、南千島、アジア東部など。国内分布は、

北海道。北海道内分布は、石狩低地帯を南限とし、それより北の主要部分。

十勝地方生育状況は、全域か。

繁殖生態・寿命

4～5月葉より先に開花。蜜腺を持つ虫媒花。果実の果序の長さ約10cm、5～6月に成熟。ヤナギ類の種子には無数の長毛がつき、風散布される。その距離は数100mから数

10kmにまで達するという。寿命は〈高木類のヤナギで〉30～50年？

他生物との関わり

キベリタテハ、コツバメ、コムラサキやヒオドシチョウといったチョウ類の幼虫の食樹となる。

《ヤナギ一般》花の少ない早春に開花するので、この時期の昆虫にとって貴重な吸蜜源となる。また、ヤナギ類は新条（その年に出た枝）が伸びるにつれ新しい大きめの葉を先に付けるが、早くから出た葉は順番に落ちていく。これによって長期に渡り水生昆虫に餌を供給でき、魚を養うことができる。



コムラサキ。幼虫時エゾノバッコヤナギを食樹とする

植栽関係

発根性が大きめで移植が容易であり、挿し木(埋枝)も可能である(春)という説〈バッコヤナギについて^{*}〉と、不定根が発生しにくいので枝挿し増殖に向かないという説〈バッコ及びエゾノバッコヤナギについて^{**}〉がある。

〈バッコヤナギについて^{*}〉土壌：壤土、弱湿性、通気の悪い土でも耐える、pHは弱酸性、堅密度は中程度。陽性木。樹齢10年で、直径10cm、樹高4m、根系の最大深度80cm、根の広がり半径0.7m。根の支持力は弱い。移植は易しい。

興味深い話

- 花材、まな板、護岸などに用いられる。
- 別名をエゾノヤマネコヤナギ(蝦夷の山猫柳)という。猫柳の猫とは柳の花のことであり、早春の花を付けたヤナギ一般を猫柳と呼ぶ。特に(エゾノ)バッコヤナギの「猫」は大きく代表的な「猫柳」といわれる。種の「ネコヤナギ」とは別。
- ヤナギはさらにドロヤナギなどのポプルス属、ケショウヤナギ属、オオバヤナギ属、一般的なヤナギを指すヤナギ属に分けられる。さらに英語では同じヤナギ属でも細い葉で枝挿しにむくものをウィロズ(Willows)枝挿し増殖に向かないものをサロズ(Sallows)と分けるという。このエゾノバッコヤナギはSallows(広葉ヤナギ類)に入る。
- ヤナギは全体として早熟性であり、発芽後10年ほどで種子散布をおこなう。また風散布によって種子が遠距離まで

- 分散するため、その生育域を短期間に広げる可能性を持ち、「速足の旅人(クイックトラベラー)」と呼ばれるという。
- 十勝地方のアイヌ語名では「チアスス」という。



エゾノバッコヤナギの「猫」(これは雄花)

配慮事項

特になし

参考文献

- 「CD-ROM原色牧野植物大図鑑」 邑田仁編修 北隆館
- 「新装版樹木根系図説」 荻住 昇 誠文堂新光社 1987(*)
- 「北海道 樹木図鑑」 佐藤孝夫 亜璃西社 1990
- 「新版 北海道の樹」 辻井達一・梅沢俊・佐藤孝夫 北海道大学図書刊行会 1992
- 「樹木大図鑑」 高橋秀男監修 北隆館 1991
- 「図説花と樹の大事典」 木村陽二郎 監修 植物文化研究会・雅麗 編集 柏書房 1996
- 「北海道 庭と庭木のすべて」 原秀雄・須田輝 北海道新聞社

- 1978(**)
- 「ヤナギ類 その見分け方と使い方」 斎藤新一郎 (社)北海道治山協会 2001(**)
- 「森林で遊ぼうシリーズ1 おもしろい木の話」 北海道立林業試験場 監修 北海道林業普及協会 1996
- 「北見の蝶」 木村辰正 北見市教育委員会 1994
- 「知里真志保著作集 別巻I 分類アイヌ語辞典 植物編・動物編」 知里真志保、平凡社 1976

魚類

底生動物

両生類
爬虫類

トンボ

チョウ

樹木

(在来種) 草花

(外来種) 草花

哺乳類

(水辺) 鳥類

(草原・樹林) 鳥類
ワシ・タカ